

## 北海道新型コロナウイルス感染症対策本部 第112回本部会議 記録

日 時／令和4年6月3日（金）  
15：00～：15：20  
場 所／本庁舎3階 テレビ会議室

### 【副本部長（小玉副知事）】

これより、北海道新型コロナウイルス感染症対策本部の第112回本部会議を開催します。  
まず、道内の感染状況等について、新型コロナウイルス感染症対策監から説明願います。

### 【佐賀井新型コロナウイルス感染症対策監】

資料1をご覧くださいと思います。まずスライドの1、主な指標の状況ですけれども、昨日、6月2日時点で、新規感染者数は、今週先週比で引き続き1を下回っておりまして、人口10万対の新規感染者数は、札幌市191.6人、札幌市を除く地域で149.2人、全道で165.1人といずれの地域も減少が継続しておりまして、療養者数も同様の傾向にございます。

また、病床使用率ですが、札幌市17.1%、札幌市を除く地域は15.2%、全道は15.8%と増減を繰り返しながらも減少傾向にございます。

続いてスライドの2です。各圏域の状況ですが、新規感染者数は全ての圏域で先週比が1を下回っておりまして、減少が継続してございます。一方、病床使用率ですが、一部圏域で増加が見られますけれども、多くの圏域で減少している状況にございます。

続いてスライド3、総評です。医療提供体制です。療養者数は減少傾向が続き、人口10万対で284.8人、病床使用率は増減しながらも減少傾向で、全道15.8%、札幌市17.1%です。

感染状況です。新規感染者数は、人口10万対165.1人で、15日連続で先週比で1を下回っておりまして、減少傾向が継続し、直近の最多であります5月14日の先週比の半数以下となっております。また、年代別ですが、30代以下の割合が約6割と減少する中、60代以上が1割を超えている状況にあります。

今後の対策です。新規感染者数は減少傾向が続くものの、医療への負荷を着実に抑えるため、新規感染者数のさらなる減少に向けまして、引き続き、3つの行動の実践ですとか、ワクチン接種促進の働きかけを、「感染拡大防止に向けた道民の皆様へのお願い」の下に実践を呼びかけてまいります。

次にスライドの4、総評の2です。ワクチン3回目接種ですが、他の世代に比べまして接種率が低い若年層に向け、学生をターゲットにしたポータルサイトを5月31日に開設するなど、様々な媒体を活用しながら働きかけますとともに、重症化リスクが高い未接種の高齢者の方々への情報提供や接種希望への対応に引き続き市町村と連携して取り組んでまいります。

続いて3回目接種までが対象のノババックスワクチンですけれども、道の接種センターで6月5日から接種を開始いたします。引き続き未接種者も含め、対象となりうる方に接種を検討いただけますよう、市町村と連携し、丁寧な情報提供を行うなど、接種の促進に向け取り組んでまいります。

次に4回目接種ですが、多くの市町村で7月までに接種開始予定なものの、一部の市町村

で、準備などの調整中でございますので、希望する方が適切な時期に接種できますよう、市町村支援に努めてまいります。また、4回目接種の対象者の範囲ですが、引き続き、国で検討が進められている中ではありますけれども、6月1日、国に対しまして、医療や介護従事者等の関係団体など、現場の意見等を十分に踏まえまして検討を進めていただけるよう道独自に要請を行ったところです。

次にスライド5以降について、何点か主要な動向などを補足説明いたします。

少しスライドを飛ばしまして、スライド20をご覧くださいと思います。棒グラフの右側になりますけれども、新規感染者数はいずれの年代も5月の中旬以降減少傾向にございまして、中央の表のとおりですけれども、30代以下が大きく減少している状況にございます。

続いてスライド23をご覧くださいと思います。年代別の新規感染者ですけれども、棒グラフのとおりですが、全ての年代で減少傾向が見られます。また、円グラフのとおり年代別の割合は、10代以下が最も多く、次いで20代から30代など、これまでと大きな変動はございませんけれども、30代以下は4月末まで全体の70%を占めていたものが、直近では65%を下回る状況にあるということで、その一方で、60代以上は足下で13%とその割合が高くなってございます。

スライドの24をご覧くださいと思います。集団感染の発生状況ですが、全体として医療施設、福祉施設の件数・人数ともに大きく減少してございます。

スライドの25をご覧くださいと思います。ワクチン接種ですが、3回目接種の状況ですけれども、6月1日現在、VRSベースで約320万人、接種率は61.3%、このうち65歳以上の高齢者の方は、約148万人で接種率は88.9%。また、小児へのワクチン接種ですが、1回目が19.2%、2回目15.1%と、ともに全国を上回っている状況にございます。

スライドの26をご覧くださいと思います。全道の3回目接種の年代別の状況ですが、65歳以上で88.9%と高い水準にございますけれども、10代では25.1%にとどまっている状況にあります。また、全国に比べまして、多少接種率は高いものの、50%に届いていない30歳代以下の接種の更なる加速化に向けまして、市町村の取組をより一層支援してまいります。

次にスライドの28をご覧くださいと思います。3つ目の丸になります。若年層の3回目接種を加速するため、札幌市と共同で、市営地下鉄全線全車両への中吊り広告などを継続して実施していることに加えまして、道内の大学生や専門学校生のニーズに即しました情報を掲載した「学生向けワクチンポータルサイト」を5月31日に道のホームページ内に新たに設置いたしました。各大学を通じて、学生にこのサイトを紹介してもらうなど、きめ細やかな情報提供を進めているところでございます。

スライドの29をご覧くださいと思います。道の接種センターでは、道内の市町村が発行します、1回目から3回目用の接種券をお持ちの18歳以上の方を対象に、6月から9月までの毎週日曜日に、ノババックスワクチンの接種を実施することとしてございまして、5月27日から予約受付を開始している中、出足が好調でございまして、6月分は既に予約枠を満たしている状況にございます。なお、次の予約ですが、7月3日、日曜日の接種分について、6月14日から受付を開始する予定としてございます。

最後にスライドの30をご覧くださいと思います。60歳以上の方や、18歳以上で基礎疾患を有する方などを対象に、5月25日から順次開始されております4回目の接種ですけれども、一部の市町村では準備などの関係から接種時期は調整中となっている面もござい

すので、希望する方が適切な時期に、円滑に接種できますよう、地域実情に即した更なる市町村支援に努めてまいります。

その他のスライドにつきましては、本日の説明に関するデータや情報でございますので、後ほどご覧いただければと思います。資料1の説明は以上でございます。

続きまして資料2をご覧いただきたいと思います。資料1、道内の感染状況等について、専門家、有識者の皆様のご意見を伺いますとともに、市町村や関係団体の方々にも事前にお知らせしてございます。有識者、専門家の皆様からは、概ね妥当である旨のご意見をいただいております。その主なものについてご紹介いたしますと、まず、1のとおりですが、気温が上がってくるこれからの季節のマスク着用のあり方などの啓発をお願いしたい、2のとおり、現在感染状況が落ち着いてきているので、第7波に向けた体制整備などの推進をお願いしたい、3ですが、若年層の3回目ワクチン接種について、引き続き啓発活動をお願いしたい、4ですが、若い世代へのワクチン接種促進の工夫や、病院、施設などのクラスターへの適切な指導、応援をお願いしたい、といったご意見が寄せられておまして、こうした面につきましては、今後の対策の参考としてまいります。

私からの説明は以上でございます。

#### **【副本部長（小玉副知事）】**

次に、札幌市の感染状況について、オブザーバー出席いただいております札幌市保健所の山口感染症担当部長から、説明をお願いいたします。

#### **【山口札幌市感染症担当部長】**

札幌市の山口でございます。資料3に基づきまして札幌市の感染状況についてご説明いたします。それでは最初のスライドをご覧ください。新規感染者の1週間の合計でございますが、昨日6月2日の時点では3,758人、人口10万人当たりでは191.6人と、5月中旬から減少傾向が続いておまして、感染状況には落ち着きが見られているところです。

次のスライドをご覧ください。入院患者数についてでございますけれども、昨日時点では109人となっております。病床使用率は、5月中旬から20%を超えて推移をしておりましたが、病床の不足という状況に陥ることなく、また、今週は特に退院患者が多かったことなどもあり、直近の病床使用率では20%を下回りました。新規入院患者の大半は軽症者であり、入院期間も比較的短いという傾向は変わっておらず、引き続き動向を注視してまいります。重症患者につきましては、ゼロが続いているところです。

それでは次のスライドをご覧ください。これは検査件数のスライドでございます。直近一週間では、14,536件、1日平均いたしますと、2,000件を超える検査を実施しているところです。陽性率は昨日の時点で25.9%と減少が見られております。これから行楽に適した季節を迎えることとなりますが、感染の拡大を防ぎながら社会経済活動を継続していくためにも、ワクチン接種の促進のほか、感染リスクの高い場面や重症化リスクの高い方と接する際のマスクの着用の徹底など、様々な場所や場面に応じた、感染対策が十分と考えてございます。

以上です。

### 【副本部長（小玉副知事）】

次に、各部、振興局から順次発言をお願いいたします。胆振総合振興局長からお願いいたします。

### 【谷内胆振総合振興局長】

資料4に基づきまして胆振管内の感染防止対策の取組を報告いたします。

まずは管内の感染状況ですが、グラフにありますように、5月のゴールデンウィーク明けから再び感染が急拡大をしまして、5月17日には週合計の新規感染者数が過去最多を更新する状況となりましたものの、その後は感染状況が徐々に落ち着きをはじめ、昨日6月2日時点では週合計の新規感染者数が662人、10万人当たりで172.9人とピーク時の3分の1近い水準まで減少をしているところであります。こうしたゴールデンウィーク明けの感染拡大を踏まえまして、振興局では、管内の町長会議の場などを活用しまして、首長の皆様方と、感染状況や課題認識を共有するとともに、3つの行動の再点検に関しまして、各種団体や企業などに対する周知の徹底や、住民の皆様への働きかけにご協力をお願いしたところでございます。また、感染者の増加に対応するため、これまで管内の市町からの保健師の派遣や振興局各課からの職員派遣によりまして、保健所の体制確保に努めてきておりますが、直近の感染者数が落ち着いてきたこと、これに加えて、会計年度任用職員の増員ですとか業務の外部委託などの効率化を進めてきております。その結果、今のところ今月以降は、応援職員の派遣は順次縮小できる見通しでございます。

次にワクチン接種の促進ですが、振興局としましても、ワクチン接種の促進が重要との考えの下、これまでも市や町と連携しまして接種状況や課題の共有を図りながら、ホームページやSNS、あるいは動画放映、こういったものを活用して、広報を実施してきておりますが、これら取組に加えて、特に若い世代の方々への関心や理解を深めていただけるよう、6月からは高校生以上を主なターゲットとしまして、スクールバスをはじめ、多くの学生の利用が見込まれる管内の路線バス212台に車内広告の掲載を始めたところであります。また、先日振興局の職員が管内の大学や専門学校を直接訪問しまして、若手職員が作成をしておりますワクチン接種を紹介するかわら版の配布、あるいは啓発ポスターの掲示など、学校内での学生への情報発信について協力依頼を行ってきたところでございます。これから夏にかけては、胆振管内でも徐々にイベントなどの実施が予定され始めております。振興局としましても、引き続き、各市町をはじめ、関係機関と緊密に連携し、3つの行動の徹底やワクチン接種の検討を呼びかけるなどしながら、この地域が本来の活力ある楽しい夏を取り戻していけるよう、感染対策に取り組んでいきたいと考えております。

私からは以上です。

### 【副本部長（小玉副知事）】

このほか、ご発言はございませんか。なければ本部長から。

### 【本部長（知事）】

本日の新規感染者数は、1,038人と、道内の新規感染者数は、昨日まで、先週比で15日連続して1を下回っております。減少傾向が続いています。10万人当たりでは165.1人となりました。4月以降の感染拡大前の水準を下回った状況になっています。

また、病床の使用率についても、15.8%と増減をしながらも減少傾向になっています。これまで病床使用率や医療への負荷については、市町村や医療関係者の方々に状況をお伺いしながら、対応してきたところがございますが、減少はしているものの、感染者数はまだ高い水準にあることから、引き続き、そうした状況を含め、丁寧にモニタリングをしていく必要があります。こうした中、感染をさらに抑えていくため、道民の皆様には感染拡大防止に向けた3つの行動の実践、そしてワクチンの3回目の接種を検討いただくようお願いをいたします。特に20代、30代の若年層の接種促進を図っていくことが重要であります。このため道では、道内大学などにご協力をいただき、学生への呼びかけを行うこととし、ワクチンに関する学生向けポータルサイトの開設と、このサイトの学内メールでの周知といった取組を5月31日にスタートしたところがございます。各本部員、地方本部員は、こうした動きや地域の状況を踏まえ、市町村や関係団体と連携して、3つの行動の実践、3回目の接種の働きかけ、これを進めていただきたいと思います。

ノババックス社製のワクチンであります。6月5日から北海道ワクチン接種センターにおいて接種を開始いたします。先ほどご報告がありましたけども、このノババックス社製のワクチン、6月分については既に予約はもういっぱいという状況になっております。次の7月3日、日曜日の接種分について、6月14日、火曜日から予約を受け付けるという形といたします。これまで副反応の心配から接種を控えてきた方には、ぜひこちらの接種をご検討いただきたいと思います。

最後に、4回目の接種についてであります。5月25日に開始となりました。今後それぞれの市町村において順次開始されていくこととなります。速やかな接種に向けて引き続き市町村のサポートをお願いいたします。また、接種対象の範囲については、60歳以上の方、基礎疾患のある方となっているわけですが、国は引き続き、検討するという事になってます。国が検討を進めるに当たっては、関係団体など、現場の意見を十分踏まえるようにということで、6月1日に、要請を行ったところであります。今後の検討状況について、注視をするとともに、情報収集に努めるように指示をいたします。

私から以上です。

#### **【副本部長（小玉副知事）】**

本部長から指示のあったことにつきまして、各本部員は必要な対応をお願いします。以上をもって、新型コロナウイルス感染症対策本部の第112回本部会議を終了します。

(了)